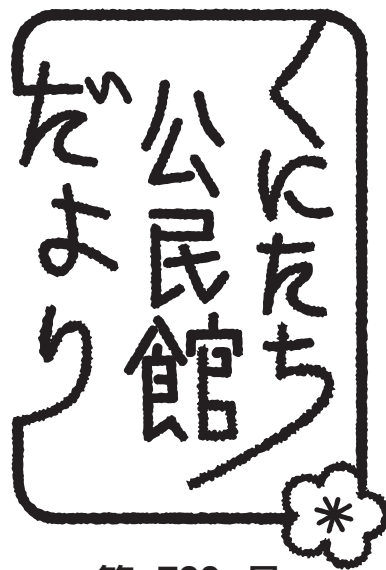


# 講座参加者の声

公民館では年間を通してさまざまな主催講座が行われています。今年5月・6月に実施された講座に参加された方々に、感想を寄せていただきました。講座の雰囲気を感じていただければと思います。



第 739 号

2021年9月5日

(令和3年)

「くにたち公民館だより」  
ホームページのQRコード▶



発行  
国立市公民館

〒186-0004  
国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日



講師のマンズ・トンブソンさん

写真家であるマンズ・トンブソン講師は、日本に住み22年目、日本語は非常に堪能、忍者などの日

〈多文化共生事業〉  
「ブラック・ライフズ・マター」  
イメージで語るのではなく、  
大切な人として見る  
足立 伸也

2021年5月29日、ブラック・ライフズ・マター講座に娘と2人で参加し、多くの気づきを得ました。私が得た気づきを皆様と共有致します。

本文化にも造詣が深い方です。そんな彼が、今回のタイミングで日本文化よりも伝えたいとテーマに選ばれたのは肌の色による差別の問題でした。  
アメリカで発生した事件をきっかけに「ブラック・ライフズ・マター」として世界中に広がった差別の問題を、マンズ講師は歴史的な流れを踏まえて考察されました。考察から私が改めて認識したのは3点です。1点目は、1492年コロンブスの新世界発見が大きな意味を持つこと。2点目は、当時から黒人は様々な面で活躍していたこと（黒人が奴隷を所有するという事例もあり）。3点目は、アメリカの南北戦争が南部経済を支えた奴隷制度を守る側面があったことです。  
この差別の問題を、白人と黒人で単純化し、理解することは簡単ですが、そうでない複雑な視点が

混じっていることがとても新鮮でしたし、その複雑性を考える意味を改めて認識しました。マンズ講師からのお勧めいただいた「13th」というドキュメンタリーも早速拝見し、その複雑性の理解に役立ちました。  
マンズ講師の家系は、事業、学術それぞれの分野で成功を取められ、国内に影響力を持たれています。それにも関わらず、マンズ講師を含めて、国内で差別をされてきたそうです。実際、マンズ講師が16歳の時に職務質問をされたという話を聞き、我々が想像する以上に、黒人の生活の安心を脅かす存在があることを強く認識しました。

講座を通して、我々はこの差別の問題を多面的に知り、考えるべきだと感じました。特に、なぜ今のような状況が起こっているのかを流れとして知り、その本質を掴むことは重要だと感じました。それは他人事ではありません。マンズ講師は問いました。なぜ日本人が使う、外人の反対は白人でなく、日本人なのかと。日本人以外で外だと認識する前に、そもそも内とは何なのかを考え直す必要があります。仮に、日本人と言うグループが残るとしても、そのグループの中にも多様性があることは間違いありません。その多様性を

正しく見ずに、黒人を始め〇〇人と分類し、イメージするのは、本質を見誤ると考えます。良くないイメージが固定化すると、法や政策につながる可能性があるとマンズ講師も指摘されました。  
最後にマンズ講師は強調されました。「白人、黒人、アジア人、アラブ人などはあっても、ミトコンドリアレベルでは、人種は一つです」と。そうであれば、自ずとこの結論にたどり着くのではないのでしょうか。相手が誰であろうと大切な人間として接する。この点は、日本においても、海外においても、我々一人ひとりが日々意識できま



歴史的背景やご自身の体験を踏まえながら人種差別についてお話いただきました

〈青年講座〉  
「初心者 山部」  
初めての山部参加

上原 真弓

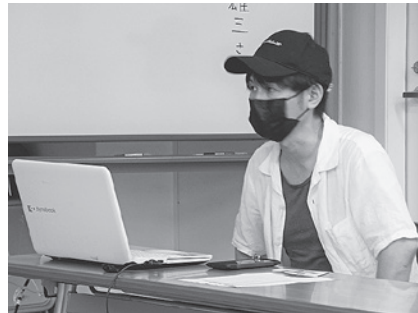
5月中旬、公民館だよりに載っていた募集要項の「対象・高校生〜30歳代くらいの方」というのを見て、恐る恐る公民館に電話しました。というのは、私が30代も後半だったからです。

以前から「山に登ってみたい」という気持ちはあったのですが、一歩踏み出せずにこの歳までできてしまいました。年々衰える体力を考えると、今のうちにスタートしなければと焦るのですが、今更一人ではどう登つたらいいのかわかりません。そんな中、初心者山部の募集を見て思い切つてチャレンジすることにしました。

緊張の第1回目の座学の時間がきました。公民館3階へ行くと、出迎えてくださった講師の林さんの気さくな声かけや、皆さんの明



るく和やかな雰囲気にもホッとしました。山登りの装備についても、丁寧に教えていただきました。登山靴やリュックなど専用のものを買わなければならないかと思っていたのですが、今回の山登りに関しては、あるもので大丈夫だと教えてもらい安堵しました。



講師の林さん。座学では山の知識を学びます

この座学の中で私が感動したのは、登る山をどの山にするのか、その場の皆さんで決められた点です。予め林さんが3つのコースを考えてきてくださったのですが、メンバーの熟練度や山道の混み具合、難易度などを含め皆で相談して、折衷案のコースを決めることができました。近隣の山の豊富な知識や登山経験、そして引率の経験がないとわからないことだと思います。本当に心強く感じました。

登山当日、9時半に高尾山口駅

からスタートしました。初心者の私は「使った方が絶対楽だよ」とストックを貸していただきました。最初は高尾山の稲荷山コースを行きました。木に囲まれた山道は、風もさわやかでも気持ちよかったです。雨上がりで少しぬかるんだところもありましたが、適宜声をかけあい注意しつつ進みます。メンバーの様子を見ながら、休憩タイムもとつてくださり、その後上りの一番の急所、高尾山山頂直前の200段を超える階段にさしかかりました。目の前にそびえる階段は長く途中で息が切れますが、もうすぐ頂上と励ましてもらってなんとか登りきりました。

高尾山山頂で休憩をとつたら、今度は小仏城山へ。



まぶしい緑のなか山頂を目指します

車や街の音が聞こえない静かな世界の中、目の前の一歩一歩に集中し、久しぶりに無心になれた時

間でした。少しひらけたところから下の方を覗くと街が小さく見え、コロナ禍で鬱々とした気持ちが晴れるような気がしました。



山頂に到着！（撮影のためマスクを外している人もいます）

1時間ほどで小仏城山山頂にたどり着き、お昼ご飯をいただきました。お昼ご飯はなんと、ハンバーガーです。特製のパンズとハンバーガーを用意してください、ハンバーガーはバーナーで焼いてください。皆さん調理もお手の物で、みるみる間に本格的なハンバーガーが完成していきます。まさかこんなおいしいご褒美がまっているとは！疲れた身体に染み込みました。

さて、下山は相模湖へ下るコースです。登りとはまた違った景色が眼下に広がります。下りの方が楽かと思っていきましたが急なところも多く、また滑らないように神経を使います。一歩一歩下る時の

膝への衝撃を、ストックを使いながら和らげます。お借りしていたストックのありがたさを感じました。なんとかバス道路まで行けた時には無事に帰つてこられてよかったですとホッとする気持ちと、そして自分の足で登り切れた満足感でいっぱいでした。

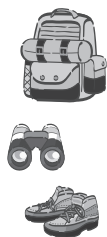


自分で作ったハンバーガーの味は格別

以前から気になっていた山登りにチャレンジでき、充実した時間になりました。また、山が好きな人たちと知り合うことができたこともよかったです。

みなさんも、山部へ参加してみませんか？30代の方、今からでも遅くないですよ！一緒に山を楽しみましょう。

第1回目2021年6月13日  
日座学実施・第2回目2021年6月20日登山実施



〈地域資料講座〉

記録を残し、記憶を伝える～地域資料からひも解く国立のあゆみ～

「記録」には、たくさんの「記憶」が残されています。例えば、地域の人々がつくった機関紙。つくった市井の人々は、どんな思いで文章を綴ったのか、そこにはどのような文化や時代背景があったのか……。

戦後直後から1950年代にかけて、くにたちではインテリ層・女性・若者たちなどが主体的に関わるさまざまな文化運動が行われていました。「町名問題」「文教地区指定」、そして「公民館の設立」にいたるまで。

今回は、公民館図書室蔵書資料などから研究を進めている、高田さんにお話いただきます。地域資料をひも解きながら、鮮やかによみがえる当時の人々の息吹にふれてみませんか。

講師 高田 雅士 (一橋大学)

第1回 文教地区指定獲得をめぐる運動  
とき 10月17日(日)

第2回 1950年代の文化運動と公民館  
とき 11月20日(土)

時間 昼2時～4時 全2回

場所 公民館 3階講座室

定員 15名(原則2回続けて参加  
できる方、申込先着順)

申込先 9月15日(水)朝9時～  
公民館 ☎ (572) 5141



〈平和講座〉

日本軍兵士からみた  
アジア・太平洋戦争と戦後史

講師 吉田 裕

(東京大空襲・戦災資料センター)

アジア・太平洋戦争を経験した兵士は、戦中・戦後をどのように生きたのでしょうか。

戦場にいた兵士たちは特異な軍事思想の下、肉体的にも精神的にも過酷な状況に置かれていました。敗戦後、生き残った兵士たちはこの不条理な経験を抱えて、市民として社会のなかに戻っていきました。戦友会に集う者、黙して往時を語らない者など、戦争への向き合い方は様々でした。こうした背景が、敗戦日本の戦争に対する政治的文化にも影響を与えていると、吉田さんはおっしゃいます。

今回の講座では、このような日本軍兵士に焦点を当て、アジア・太平洋戦争、そして戦後を知り、戦争について考えていきます。

第1回 10月16日(土)

「日本軍兵士から見たアジア・太平洋戦争」

第2回 10月24日(日)

「日本軍兵士の戦後史」

とき いずれも昼2時～4時

ところ・定員 公民館 3階講座室：15名  
3階集会室：10名

(※申込先着順。集会室は、講座室での講演をオンラインで視聴します。)

申込先 9月14日(火)朝9時～  
公民館 ☎ (572) 5141

〈NHK学園高等学共催事業 子ども・若者地域参加サポーター養成講座〉

「校内居場所カフェの実践から学ぶ  
子ども・若者への関わり方」

オンライン  
受講可能

長引くコロナ禍により、貧困やひきこもりなど、子ども・若者たちを取り巻く課題はますます深刻になっていると言われています。

そのような中、若者支援として注目されているのが高校にある「校内居場所カフェ」です。学校の一室をカフェとして生徒に開放し「家庭でも学校でもない第三の居場所」にしようとする取り組みです。今回は、校内居場所カフェの運営など若者支援を行うNPO法人パノラマの石井さんと小川さんにお話を伺います。いま改めて、地域で何ができるのか一緒に考えてみませんか。

第1回 講演会 9月19日(日)

「校内居場所カフェから考える、子ども・若者支援」  
講師 石井 正宏 (NPO法人パノラマ代表理事)

第2回 座談会 11月14日(日)

「コロナ禍における国立市内の学校の現状」  
講師 石井 正宏 (NPO法人パノラマ代表理事)  
市内スクールソーシャルワーカー  
(国立市教育委員会、NHK学園高等学校)

第3回 講演・振り返り会 11月27日(土)

「校内居場所カフェの現場から見た若者支援の実情」  
講師 小川 杏子 (NPO法人パノラマ)

とき いずれも朝10時～12時

ところ いずれも公民館 地下ホール

定員 会場受講：30名、オンライン受講：30名  
(※3回連続で参加できる方優先、申込先着順)

申込 9月7日(火)朝9時～16日(木)夕5時  
※申込先は5ページをご覧ください。



〈図書室のつどい〉

### ゆっくり、いそげ

～カフェからはじめる人を手段化しない経済～

オンライン  
受講可能

お 話 影山 知明 (コーヒー店経営者)

今の経済・社会では成果や目的を先に決めて、最短距離で、その達成を目指す傾向にあります。その中では、期日を決め、その目的が達成できたか否かで人が評価されます。人はまるで目的を達成するための道具のようです。

その社会の価値観を180度転換してみたらどうかと影山さんは提案します。一人一人が持つ可能性を最大化するように、お互いが関わり合える社会。その考えのもと、影山さんの西国分寺にあるカフェ「クルミドコーヒー」は、カフェの営業からはじまり、地域通貨、哲学カフェ、出版と活動を広げてきました。

一人一人が大切にされる経済・社会を目指すために何をすべきか、考える機会にしたいと思います。

〈影山さんの本〉表題作 (大和書房)、『続・ゆっくり、いそげ～植物が育つように、いのちの形をした経済・社会をつくる～』(クルミド出版)



と き 10月10日(日)朝10時～12時

ところ 公民館 地下ホール

定 員 会場受講：40名、オンライン受講：30名

※いずれも申込先着順

申 込 9月9日(木)朝9時～10月3日(日)夕5時

※申込先は5ページをご覧ください。



〈図書室のつどい〉

### 世界の神様 解剖図鑑

お 話 平藤 喜久子 (國學院大學)

神話の歴史は人間の歴史と同じくらい長いと言われていいます。「世界の始まりや国の起源」「人がどう生まれ、なぜ存在するのか」といった、古来より科学では完全に解明できないような疑問にも、神話は答えてきました。

『古事記』『日本書紀』といった文献を紐解けば、イザナキ、イザナミによる国生みの話のほか、アマテラスやスサノオなど、魅力あふれる神々が登場し活躍します。世界中にこうした神話と似たものがあるのも不思議な点です。

日本を中心とした世界の魅力的な神々と、そこからわかる人々の世界観や歴史、文化、人類の移動の過程について平藤さんにお話しいただきます。神話ゆかりの地に親近感がわくきっかけにもなればと思います。

〈平藤さんの本〉

表題作・『日本の神様解剖図鑑』(エクスナレッジ)、『いきもので読む日本の神話』(東洋館出版社)ほか

と き 10月2日(土)昼2時～4時

ところ 公民館 地下ホール

定 員 40名(申込先着順)

申 込 9月7日(火)朝9時～

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



ヤタガラス(神の使いで、道案内役を務めたとも言われる)

〈平和講座〉

## AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争

オンライン  
受講可能

戦前から戦後の白黒写真をAI(人工知能)技術でカラー化し、資料や戦争体験者との対話をもとに「記憶の色」をよみがえらせる「記憶の解凍」プロジェクト。広島出身の庭田杏珠さん(東京大学学生)が、高校在学中の2017年の夏、かつての中島地区(現在の広島平和記念公園)に生家のあった濱井徳三さんと偶然出会ったことから始まり、2018年からは渡邊英徳教授(東京大学大学院)と共同で進めてきました。

カラー化写真をもとに当時を知る方と対話し、さらに色を補正していきます。このことにより白黒写真が、まるで今を生きているかのようによみがえります。本講座では、昨年出版された同名の書籍から8枚を選び、パネル展示いたします。講演では、庭田さんがこの取り組みを始めた経緯や内容についてお話しいただきます。

カラー化写真を鑑賞しながら、戦争を「自分ごと」として想像し、平和とは何かについて考えてみませんか。

〈参考文献〉『AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争』庭田杏珠×渡邊英徳(光文社)  
(第11回広島本大賞受賞)

### パネル展示

『AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争』から、戦前の広島と、広島原爆のきのこ雲(最新カラー化版)の写真を含む8枚を、白黒・カラー化写真のパネルで展示します。

と き 9月21日(火)～9月26日(日)

ところ 公民館 1階市民交流ロビー

### 講演

「記憶の解凍」～戦争体験者の「想い・記憶」を未来へ継承するために～

講 師 庭田 杏珠(東京大学)

と き 9月26日(日)朝10時～11時半

ところ 公民館 地下ホール

定 員 会場受講：40名 オンライン受講：30名

※いずれも申込先着順

申 込 9月7日(火)朝9時～9月21日(火)夕5時

\*申込先は5ページをご覧ください。



# 新型コロナウイルス感染症を考える

昨年発生した新型コロナウイルス感染症は、世界的規模に拡大し、未だ収束のきざしが見えないまま私たちの生活に多大なる影響を及ぼしています。このような状況下で、公民館では、今後の社会のあり方や、いま私たちにできることを考えられるような講座を開催していきます。

〈新型コロナウイルス関連②〉

オンライン  
受講可能

## コロナ禍で気になる子どもの健康

～ステイホーム期間中も子どもの元気を保つには？～

講師 野井 真吾 (日本体育大学)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、昨年は休校措置が取られ、今でも外出自粛が強いられるなど、子どもへのストレスが多い日々が続いています。朝起きられない、背中がぐにゃぐにゃしている等、病気ではないけれど元気がない子どもの様子が気になっている方も多いのではないのでしょうか。

今回は、コロナ禍における子どもたちの健康が心配な保護者や教育現場に携わる方に向けて、長引く自粛生活の中で、子どもたちの元気を保つためにはどうすれば良いかということについてお話させていただきます。この講座を通してステイホーム期間中も子どもたちと健康に楽しく過ごしましょう。

とき 10月2日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 講座室

定員 会場受講：15名、オンライン受講：30名

※いずれも申込先着順

申込 9月9日(木)朝9時～9月28日(火)夕5時

※申込先は右下をご覧ください。

〈新型コロナウイルス関連③〉

オンライン  
受講可能

## コロナ禍の社会と経済

講師 太矢 香苗 (ファイナンシャルプランナー)

長引くコロナ禍で日常は大きく変わりました。密を避けるため、人との接触を減らせるオンライン化の需要は増えましたが、飲食店など人が接する機会の多い業種は大きな打撃を受けました。こうした社会・経済の変化により、お金に対する考え方にも変化が表れてきています。

この講座では、幅広い世代の方々にコロナ禍における社会・経済の変化や今後の動向について考える機会にしたいと思います。

とき 10月8日(金) 朝10時～12時

ところ 公民館 地下ホール

定員 会場受講：40名 オンライン受講：30名

※いずれも申込先着順

申込 9月10日(金)朝9時～10月3日(日)夕5時

※申込先は右記をご覧ください。



〈新型コロナウイルス関連①〉

オンライン  
受講可能

## 新型コロナウイルスを知る

～基礎知識を正しく理解して正しく備える～

講師 水谷 哲也

(東京農工大学農学部附属感染症未来疫学研究センター)

新型コロナウイルスの感染者数の増加に歯止めがかかりません。ワクチン未接種の若年層を中心にデルタ株が猛威をふるい制御不能とされています。また、先進国ではワクチン接種後に陽性となる感染が発生し、南米ではラムダ株も報告され、大きな不安が私たちに押し寄せています。

これらの情報はメディアやSNS等で知ることができますが、感染当初から玉石混交のものが多く、何が本当に正しいのか判断できない事態も生じています。

講座では原点に立ち返り、ウイルスとは何かについて、正しく理解して正しく備えるためのお話を伺います。ウイルス増殖の仕組みやPCR検査、ワクチン、ペットへの感染など、私たちがウイルスと共生し、安心して暮らすための方法を考えたいと思います。

とき 9月25日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 地下ホール

定員 会場受講：40名 オンライン受講：30名

※いずれも申込先着順

申込 9月8日(水)朝9時～9月22日(水)夕5時

※申込先は下記をご覧ください。

## オンライン受講可能な講座の申込先

会場受講：公民館 ☎ (572) 5141

オンライン受講：sec\_kominkan@city.kunitachi.lg.jp

※申込みメールには以下の項目を明記してください。

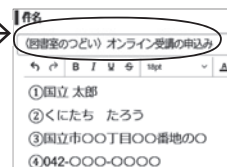
件名：申込み希望の講座名→

本文：①氏名

②ふりがな

③住所

④電話番号



※オンライン受講を申し込まれた方には、前日までに参加方法の詳細をメールいたします。

※当日、参加者側の環境による接続や音声・映像の不備についての問合せには対応できませんのでご了承ください。

## 版画をつくってみよう！ —プレス機体験ワークショップ—

プレス機を使って、本格的な版画を体験してみませんか？紙の版（ドライポイントプレート）とプレス機を使って版画を作ります。紙の版に、線を描いたり、切ったり、はがしたりして、インクを詰めて刷ると、銅版画のような作品ができて上がります。

講師 タダ ジュン（イラストレーター・版画家）  
さかた きよこ（版画家）  
山本 佳奈枝（版画家）

とき 9月19日（日）昼1時～4時  
第1部 昼1時～2時半  
第2部 昼2時半～4時

ところ 公民館 1階市民交流ロビー

定員 20名程度（各部10名程度）  
申込先着順・2部入替制

申込先 9月10日（金）朝9時～  
公民館 ☎（572）5141

材料費 200円

持ち物 エプロン（よごれてもよい服装）、  
ハガキサイズぐらいの下絵（なくても可）

※所要時間は1時間程度です。定員を超えた場合は、締め切らせていただきます。完全入れ替え制ですので、申し込まれたお時間に間に合わない等、不都合がありましたらご連絡ください。



監督 小津安二郎  
出演 笠智衆、岩下志麻、佐田啓二、岡田茉莉子、  
杉村春子、東野英治郎、中村伸郎、三宅邦子ほか

戦前・戦後を通し、一貫して《家族》というテーマを描き続け、日本映画の黄金時代を支えた巨匠・小津安二郎の遺作。嫁いでいく一人娘を送り出す父の寂しさと孤独を、淡々と、穏やかに描き出す小津安二郎独自のスタイルは、最後まで変わることはなく、小津映画の集大成ともいえる味わい深い名作となった。



とき 9月26日（日）昼2時～（開場昼1時）

ところ 公民館 地下ホール

定員 35名（申込先着順）

申込先 9月15日（水）朝9時～  
公民館 ☎（572）5141

\*事前申し込み制となっています。必ず電話もしくは窓口にて事前にお申し込み下さい。

\*新型コロナウイルス感染予防のため、途中で10分程度、換気のための休憩を設けます。ご了承下さい。

### 同時開催！

## 「はじめての銅版画」展

創作講座「はじめての銅版画—Etching Work Shop—」の作品展を行います。一人ひとり個性豊かな作品ができました。ぜひ見に来てください！

とき 9月14日（火）～19日（日）昼2時まで

ところ 公民館 1階市民交流ロビー

問合せ 公民館 ☎（572）5141

〈くにたちブッククラブ 人生、野を越え山越えて〉

## 川端康成『山の音』

（新潮文庫）

講師 金井 景子（早稲田大学・日本近代文学）

とき 9月9日（木）夜7時半～9時半

ところ 公民館 地下ホール

定員 30名（今年度すでに申込済の方は申込不要です。）

\*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が「読み」を出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

### 公民館運営審議会報告

8月10日（火）第33期第10回定例会を開催。委員14名、館長、職員2名出席。傍聴者4名。

#### 前回事務録確認

若干の修正を確認した。

#### 報告事項

○公民館だより編集研究委員会（編集研）、社会教育委員の会、東京都公民館連絡協議会（都公連）について報告があった。都公連からは第1回委員会研修会の案内があった。

#### 協議事項

○諮問「新型コロナウイルス感染拡大時における教育機関としての公民館事業について」答申に向けて、先月に引き続き過去の感染拡大時の記録・検証を進めた。くにたちブッククラブ、しようがいのしや青年教室、市立小学校他、全部で8名の委員から各団体の休館中及び過去の感染拡大時の動きについての報告と質疑応答を行った。社会教育学習会担当委員から12月18日（土）午後に社会教育学習会を行うとの提案があった。パネルディスカッション形式でテーマは今後検討予定。

答申作成に向け行政組織、公民館運営関連団体、公民館事業、利用団体、利用者個人へのヒアリング、アンケートを通して記録・検証を進めることを確認し、役割分担を行った。

○次回定例会は9月14日（火）夜7時15分から地下ホール。感染予防の上、傍聴歓迎。

（池田）

**水泳「とびうお」会員募集**  
 コロナ禍の折、健康維持、体力増進に塩素使用の温水プールで楽しく、元気に泳ぎましょう。会員指導者すべて女性。レベル別に指導。体験水泳可。  
**日時** 毎週火曜日 昼12時～2時  
**場所** 総合体育館 室内プール  
**連絡先** 可知(572) 1875



# ひろば

(8ページにもあります)

**平日のんびりテニスを!**  
 1面2時間、月2回程度。少人数テニスを楽しんでいます。できれば65才位までの方。七転八起がモットーの「だるま会」。コートでの新しい出会いが始まります。  
**日時** 平日木曜日 月2回程度  
**場所** 谷保(矢川) テニスコート  
**連絡先** 上林(577) 2806

**会員募集 社交ダンス絆**  
 講師と一緒に少人数で楽しく練習しています。ダンスを基本から練習し、パーティで踊れるステップを目指します。初心者歓迎します。  
**日時** 月3回金曜 昼3時～5時  
**場所** 公民館 地下ホール  
**連絡先** 桜井(325) 6791

**「ひろば」欄投稿規定**  
 市内の団体・グループ活動のお知らせの場です。  
 原稿の締切りは、掲載希望月の前月7日の午後5時です(7日が月曜日の場合は、翌日の8日まで)。原則として掲載月の7日から翌月6日までのお知らせを掲載します。  
 公民館備付けの原稿用紙に団体名・サークル名を含めてお書きください。氏名には振りがなをふってください。  
 会員募集は6カ月に一回掲載することができますが、紙面の都合により翌月掲載とすることがありますので、ご了承ください。

## -11月(ロビー-12月分) 会場調整会のお知らせ-

申込書のポスト投入期間	9月4日(土)～23日(木)
公用使用の貼り出し	9月10日(金)頃
予約の重なるのあった団体の掲示開始日	9月25日(土) ▶重なり状況
会場調整会	10月2日(土)朝10時～

・予約の重なりのある、なしに関わらず、電話による連絡はいたしません。(ご不明な点は、公民館へお問い合わせください。)

・会場調整会へは、1団体1名の方が、手洗い・マスク着用等の感染症対策のうへ、第1希望の会場がとれなかった場合の別の候補日も想定して、活動日を決定できる方がご参加ください。  
 公民館 ☎ (572) 5141

会場調整会は朝10時までに受付を済ませて下さい。

## 検温器付自動消毒液ポンプを設置しました

正面及び裏玄関(ともに入って右側)に設置しています。よろしければ、ご利用ください。

額を近づけると、検温できます。

手をかざすと、消毒液が出ます。

## 公民館へご来館の際のお願い

平素は新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力いただきましてありがとうございます。

厳しい暑さが続くなか、さらなる感染拡大防止のため、講座参加と会場ご利用の際は、引き続き以下の点にご留意ください。よりよい学習環境を保つために皆様のご協力をお願いいたします。

- ・自宅で検温してからお越しください。(発熱37.5℃以上、咳、咽頭痛等の症状のある方はご来館をご遠慮ください。)
- ・マスクを着用してください。
- ・石けん等による手洗いや消毒液による手指の消毒を行ってください。
- ・過去2週間以内に感染拡大の地域や国へ訪問歴のある方はご来館をご遠慮ください。
- ・会場のご利用にあたり、サークル・団体の代表者等は、参加者氏名と緊急連絡先を必ず把握し、保健所等から依頼があった場合は、参加者名簿を提示してください。
- ・会場はこまめに換気してください。

